

認知症に関する活動計画（概要）

鹿児島県作業療法士協会の事業部には2014年より「かごしま認知症OTネットワーク」が配置されており、現在24名のネットワーク員とともに認知症に関する研修会や交流会を実施しています。また、生協コープ鹿児島と作成した「くらしのあれこれヒント集」をテキストに、生協組合員への講座を実施しています。2023年度の活動として①外部講師を招待した対面研修会 ②認知症のある人に携わるOTの交流会 ③生協コープ鹿児島との認知症に関する共同事業が挙げられます。

対面研修会の実施

今年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したことから、協会員が臨床に活かせるよう対面研修会を再開しました。講師に神戸学院大学の小川真寛先生を招き、認知症の人の活動の質を評価する“A-QOA”について講演頂きました。参加者からは、直接講師の先生のお話を聞けることや、実際に現地で研修会に参加するとオンラインよりも集中出来るといった声があがりました。



認知症のある人に携わるOTの交流会

かごしま認知症OTネットワークでは、3年前より県内の認知症に関わるOTの交流会を実施しています。昨年度は12月に実施し、分野の異なる11名のOTが取り組みを発表し、交流会後には懇親会も行いました。他道県のOTにも参加してもらい、少しずつですが交流が広がってきています。今年度も12月頃実施予定です。



生協コープ鹿児島との共同事業

2018年に生協コープかごしま、鹿児島大学医学部保健学科と鹿児島県作業療法士協会が提携し、もの忘れでお困りの方と支援者のための『くらしのあれこれヒント集』を作成しました。本年度も「くらしのあれこれヒント集」を基に県内各地で生協組合員向けの講座を開催しています



COVID-19の影響・対応など

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したことから、コロナ渦前の取り組みに取り戻しつつ、オンラインの良い面は活かしていけるよう取り組んでいきます